

# 五中・夢バトン

豊中市立第五中学校  
学校だより  
平成 29 年(2017 年)  
5 月 1 1 日  
発行責任者：石井武

## 『行為の意味』・・・

### 行為の意味

宮澤 章二

あなたの「こころ」はどんな形ですかと  
人に聞かれても答えようがない  
自分にも他人にも「こころ」は見えない  
けれど ほんとうに見えないのであろうか

確かに「こころ」はだれにも見えない  
けれど 「こころづかい」は見えるのだ  
それは 人に対する積極的な行為だから

同じように胸の中の「思い」は見えない  
けれど 「思いやり」はだれにでも見える  
それも 人に対する積極的な行為だから

あたたかい心が あたたかい行為になり  
やさしい思いが やさしい行為になるとき  
「こころ」も「思い」も 初めて美しく生きる  
それは 人が人として生きることだ

「行為の意味～青春前期のきみたちに」  
(ごま書房新社より)



「こころ」は誰にも見えないけれど、「こころづかい」は見える。「思い」は見えないけれど、「思いやり」は誰にでも見える。その気持ちをカタチに・・・。

2011年3月11日に起きた東日本大震災以降、ほとんど毎日テレビでのACジャパンのCMで流されたフレーズです。その語りに、車中で妊婦に席を譲る女性や街で高齢者の手を引く高校生の姿などが描かれていました。記憶に残っている人もいます。

私たちは人の心の中を見ることはできません。でも、その行動で、人の「こころ」や「思い」を知ることができます。「親切にしよう」と心では思ったけど、実際にはできなかった」「謝ろうと心では思ったけど、結局できなかった」・・・そして、後に残るいやな気持ち、深い後悔の念・・・。

「行為の意味」の作者、宮澤章二さんが示されるように、目に見える行為でなければ、相手に気持ちをうまく伝えることはできません。皆さんも心で感じたことや自分の思いをぜひ、行動に表してほしいと思います。

「心が生きることは、人間が生きること」・・・皆さんの「心が生きる」中学校生活に心から期待します。そして、「心のありか」を探してくれることを強く願っています。

## 安心・安全の確保が最優先！

10日（水）、避難訓練が実施されました。火事を想定し、非常ベルとともに校内放送で運動場への避難指示があり、クラス単位で避難、整列、点呼、報告が行われました。

学校生活において、何よりも大事で最優先されるのは、「安全」です。授業中でも休み時間でも、所在がわからなかったり、自分勝手な行動をしたり、話や指示がしっかり聞けてなかったりすると、大変危険な状況に結びつくことがあります。

また、避難訓練の連絡プリントや嶋田先生からのお話にもあったように、「放送を聴き取りにくい仲間、歩くのがしんどい仲間の事も気遣いつつ、すばやく行動しよう！」の目標については、一人ひとりの人間性が問われます。自分さえよければ・・・の発想が集団も個人もつぶしていくことにつながります。

日頃の学校生活はもちろんのこと、今月25日からの3年修学旅行や6月の2年湖畔学舎、1年校外学習など、参加生徒全員の「安心・安全」の確保が最優先であることは言うまでもありません。

火事や地震、不審者侵入など緊急避難時には、『押さない・(校舎内は)かけない・しゃべらない』（お・か・し）を忘れずに、自分の安全も仲間の安全もしっかり守ることを、強く意識してほしいと思います。



## 中間テストに向けて！

いよいよ来週の月・火に中間テストが迫ってきました。1年生にとっては、もちろん初めての定期考査です。

授業の集中と家庭学習の充実を大事にして、計画的かつ効果的な学習を心がけましょう！まずは姿勢を正して机に向かい「やる気と集中力」を高めよう！健闘を祈ります。

	15日（月）			16日（火）	
	1限	2限	3限	1限	2限
1年	数	社	英	国	理
2年	理	英	社	数	国
3年	数	国	社	英	理

